

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-43266

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)3月26日

B 65 D 73/02
H 05 K 13/02

J

7818-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 テーピング部品

⑯ 実 願 昭63-122186

⑰ 出 願 昭63(1988)9月20日

⑱ 考 案 者	伊 藤 博 史	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑱ 考 案 者	池 田 弘 康	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑱ 考 案 者	渡 邊 靖 夫	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑱ 考 案 者	黒 田 孝 之	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人	松下電器産業株式会社	大阪府門真市大字門真1006番地	
⑳ 代 理 人	弁理士 星 野 恒 司		

⑥ 実用新案登録請求の範囲

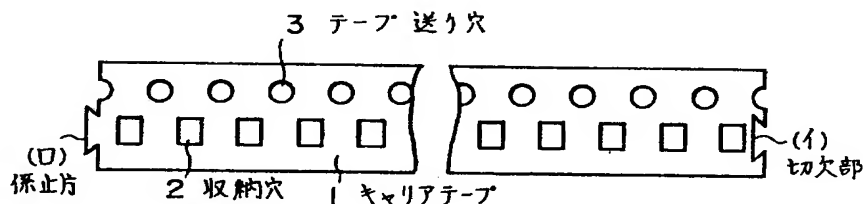
チップ型電子部品を収納する収納穴が一定間隔で連続して設けられた第1、第2のキャリアテープと、前記キャリアテープの両面に前記収納穴を塞ぐように貼付けられるテープ部材とを有し、前記キャリアテープの一方の端部に切欠部を形成すると共に、他方の端部に前記切欠部に係止する係止片を設け、前記第1のキャリアテープの切欠部に前記第2のキャリアテープの係止片を係止させて前記第1、第2のキャリアテープの端面を突合わせて仮止めし、かつ、その仮止めされた突合わせ部分にまたがるように前記テープ部材を貼付けて前記第1、第2のキャリアテープを結合するようにしたことを特徴とするテーピング部品。

図面の簡単な説明

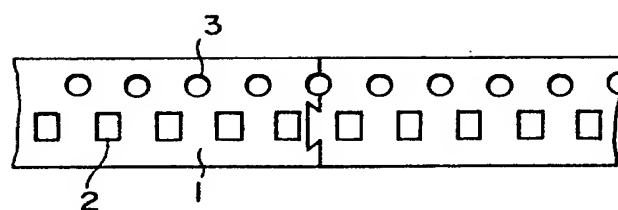
第1図は本考案の一実施例におけるキャリアテープの端部を示す平面図、第2図は同第1、第2のキャリアテープが係止された状態を示す平面図、第3図は同断面図、第4図は従来のキャリアテープの端部を示す平面図、第5図は同テーピング部品の状態を示す断面図、第6図は同テーピング部品をリールに巻取った状態を示す斜視図、第7図は同リールに巻取った状態での引出し部と巻終り部を示す平面図である。

1…キャリアテープ、2…収納穴、3…テープ送り穴、4…テープ部材、5…チップ型電子部品、6…接着剤。

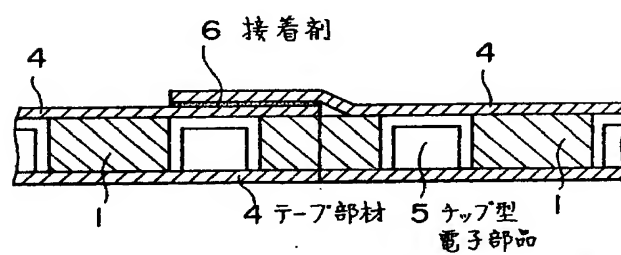
第 1 図



第 2 図

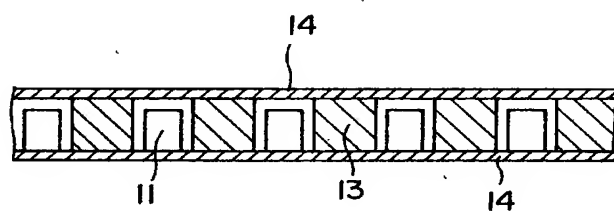
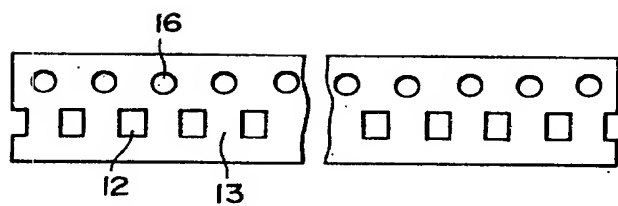


第 3 図

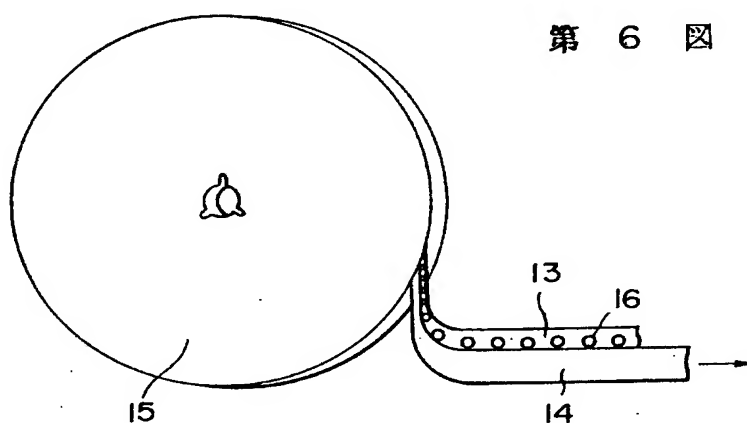


第 4 図

第 5 図



第 6 図



第 7 図

